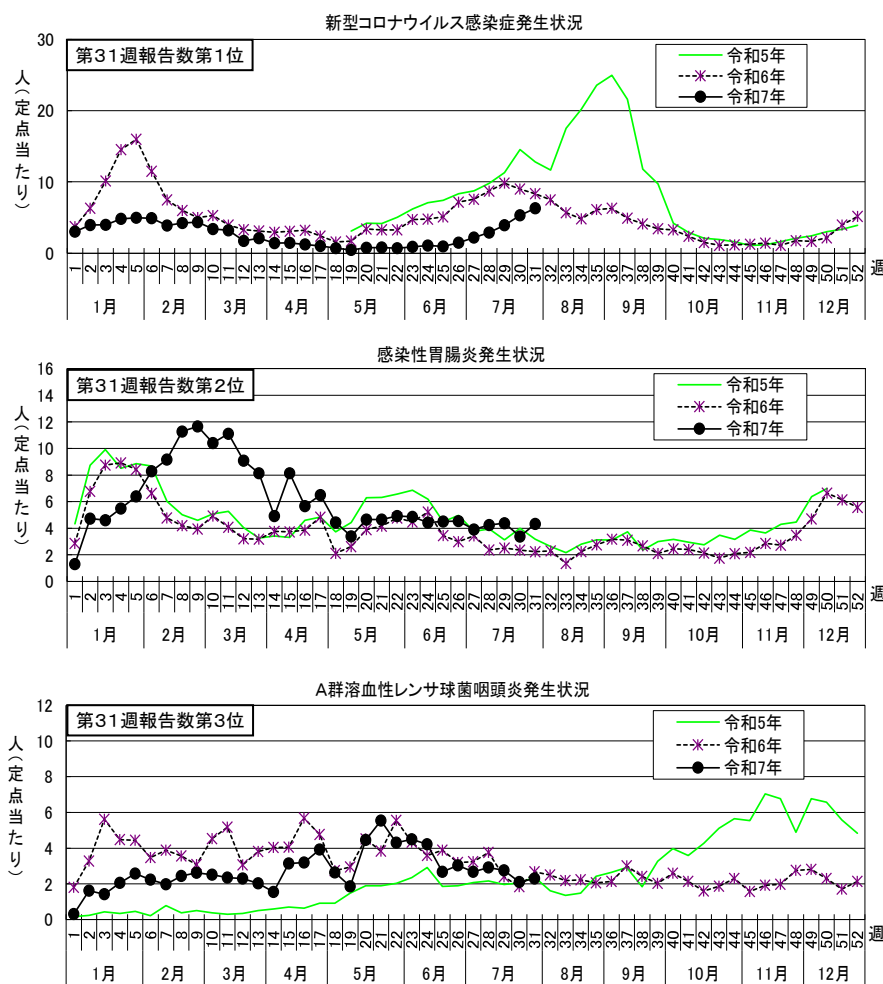


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年7月28日（月）～令和7年8月3日（日）〔令和7年第31週〕の感染症発生状況

第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）新型コロナウイルス感染症 2）感染性胃腸炎 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は6.31人と前週（5.31人）から横ばいでした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.32人と前週（3.38人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.30人と前週（2.11人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

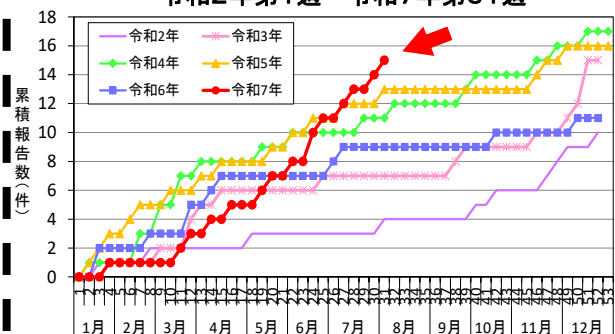


E型肝炎の報告数が増加しています！

E型肝炎は、E型肝炎ウイルスに汚染された水や食物を摂取することで感染するとされており、主な症状は、発熱や悪心・腹痛等の消化器症状、倦怠感、黄疸です。予後は比較的良好ですが、妊婦が感染した場合は劇症化しやすく、致死率が20%以上に上ることもあります。

川崎市における令和7年のE型肝炎の報告数は、第31週（7月28日～8月3日）までに計15件と、過去5年間の同時期と比較して最多となっています。E型肝炎の主な感染原因は、生又は加熱不十分な肉（豚レバー、イノシシ肉、鹿肉）等の喫食と推定されていますが、E型肝炎ウイルスは加熱することで感染性を失うため、豚レバーやイノシシ肉等は中心部まで十分に加熱してから食べましょう。

川崎市におけるE型肝炎の累積報告数の推移
 -令和2年第1週～令和7年第31週-



予防対策

- 豚やイノシシ等の肉や内臓肉の生食は避け、中心部まで十分に加熱する。
- 生肉を取り扱った際は十分に手を洗い、使用した調理器具等は洗浄・殺菌する。
- 肉や内臓の汁、使用した調理器具等が、生で食べるものや調理済みの食品に触れないようにする。
- 汚染地域と考えられる地域に旅行する際は、生水や水、生ものの摂取を避ける。

